



自分らしい住まいがほしい
ありきたりでない仕事場をつくりたい
そんなあなたに ACB

ACB

Arts & Crafts Book issue 10



特集

**リノベーション最終兵器
TOLAはじまる。**



住まい選びの新スタイル
セレクト型リノベーション

これがリノベーション最終兵器！ 「TOLA」はじまります。

アートアンドクラフト（以下、AC）が自信をもってプラン化した間取り、建材やパーツ類をセレクトしていくことで、自分らしい住まいを手に入れる新システム「TOLA」。
この仕組み、ありそうで実はなかったんです。それにしてもなんで「TOLA」なのか。
それはACがリノベーションをはじめた1998年寛年から干支が一回りした2010年、
新たなプロジェクトとして立ち上げたから！…のはずが卯年になっちゃいましたね。

（ T O L A って何？ ）

まず中古マンションを購入ください

1 ベースとなる間取りを選んでください

プランは全28種類。標準仕様はLDK+ストレージ+2個室
1個室タイプやTATAMIタイプも選べます

2 LDKの床材はどうしますか？

無垢のフローリングが全4種類
お好みでカラーオイルの着色もできます

3 個室の床はさらに自由に選べます

ビニル床タイルは厳選6カラー
タイルカーペットは5カラーをご用意

4 壁の色を選んでください

ホワイト、ヴィンテージ、北欧などクロスは全5種類
間仕切り壁にポイント塗装もOK。こちらは全6カラー

5 キッチンのお好みは何ですか

隠して収納、カスタマイズして収納。いずれもオリジナルキッチンが
2パターン。もれなく、オリジナルデザインの壁面棚もついてきます

6 洗面台はどちらにしましょうか

タイルの壁+陶器のシンプル系洗面スペース
部屋のようなイメージづくりができる家具的洗面台のいずれか

7 浴室とトイレはこだわりますか

いずれも標準タイプとアップグレードタイプがあります

8 扉や照明なども選べます

ちいさな部分ですが、実は全体のイメージを大きく左右する
大切なパーツ。ドアノブやツマミなどの金物も選べます

工事費用 **590万円**（デザイン料・税込）※63㎡で標準仕様の場合

ご注文承りました。4週間後には完成です

みんなのイチバンから選びました。

TOLAは「太鼓判」と呼ばれる間取り集、
「イチオシ」と名付けられた建材パーツ集から選ぶことでリノベーションします。
実はこの「太鼓判」「イチオシ」として選ばれたのは、
これまでACがリノベーションした物件でも特に好評だった、いわばベスト・オブ・ベスト。
今もそのリノベ物件に暮らす皆さんの生の声をお聞かせください。



建材編

無垢 フローリングに 濃い着色

渋くしたかったので。結果、
キズや汚れがわかりにくいみ
たいで、カレーもワインも平
気でした。

間取り編

ゆるやかに仕切る壁

向こう側では、秘密基地みた
いに過ごせて気に入ってます。↓



建材編

壁の穴あき ボード↓

ビスや画鋸を使うのにも何の
躊躇もいらないので、壁面に
フックや棚が増殖中です。



間取り編

広い収納→→

この収納に入るだけのモノで生
活すると決めているので余計な
ものを買わなくてすむ！ 着替
えを雑に脱いでいてもクローゼ
ットなので気にならないのも○。



間取り編

小窓のある壁

家族みんなが一つの空間に
いる感覚で、お互いが安心で
きるスペースになった様な気
がします。結果的に風の通り
道ができたこと、向こうの
部屋の壁紙が見えることも気
に入っています。



建材編

黒板塗装の壁

何も書かなくても様になるけど、
スケジュールを書いたり伝言メ
モとしても活躍しています。

建材編

無垢の杉→→

やわらかく快適で足裏
から自然の温かみを感じ
ます。月日を経て、
徐々にその風合いが変
わっていくので、お手
入れするごとに愛着も
わいています。これか
らよりよく床さん！



設備編

オリジナルの キッチン→→

もともと業務用キッチンを狙ってい
たのですが、天板の繋ぎ目が気にな
っていたところ、これだとそれが
解消できるとわかり作ってもらう
ことに。無駄なデザインがなく、予
想以上に見た目がすっきりとしてい
るところがとても気に入っています。



間取り編

広い土間→→

雨の日に濡れた衣服を脱ぐの
が楽にできるし、その衣服や
広げた傘を干しておくことも。
子どもと大人の自転車 1台ず
つ置いていても、邪魔にならない！
玄関が大きいだけに、
だいたいの人々が「家大
きいね」って勘違い(笑)。



設備編

四角い洗面

登山用品を洗ったりするなどハードに使える
洗面ボウルを探していました。時には生
まれたての娘も洗いました。理科室にある
ような風貌が気に入り、海外映画のマッド
サイエンティストのような気分で洗面ボウル
に向かっています。



間取り編

洗面所、 トイレ一体型

トイレっぽさがなくて部屋な
みの快適さ。家で一番明
いのでダンナが椅子を持ち
込んで仕事してることもある、
実は影のリビング？



建材編

色つきの壁

お菓子のパッケージをヒント
に色を決めました。住んで
みると思ったほど違和感がな
いもんですね。むしろ、白
だけだとさみしいかも。

TOLAの モデルルームまで 作りました!

ベスト・オブ・ベストの間取りと建材パーツたち。
これらが一堂に会したらどうなるの？ ってことで、
リアルTOLA作ってみました！
人気者ばかりが集まると得てして総花的、
紅白歌合戦になりがちですが、いやいや役者が違う。
さながら『オーシャンズ13』がWBCの日本代表!?

ブルーグレーの壁の向こうがストレージ。
それぞれの家族の多様なライフスタイルを
受け入れてくれる「余白」のようなスペース

TOLAは革命!? 開発者による座談会です。



アートアンドクラフト
代表
中谷ノボル“ノ”



設計監理部
チーフ
枇杷健一“枇”



設計監理部
TOLA隊長
松本晃樹“松”

—— 間取り集「太鼓判」のために、ACで過去12年間にリノベーションした間取りのビフォー&アフターを徹底的に分析したとか。

松: はい、マンションの間取りが夢に出てくるくらい(笑)。まず、もとの間取りを全部分類して、類型化、集計しました。

—— 類型化って？

松: リビングが中央にあって個室がバルコニー側に2つある3LDK、とか、バルコニー側に縦長リビングがあって個室が縦に並んでいる3LDK、といったことです。その集計結果から、約300ケースの8割を7タイプに類型化できました。「太鼓判」では、そのそれぞれに4バリエーションの間取りを考えています。

—— なるほど。それで、7タイプ×4=28通りの間取りを用意したと。(「太鼓判」を見ながら)この「部屋」未満「納戸」以上みたいな、今までの言葉で表現しにくいスペースが特徴的ですね。

枇: 扉のない、壁で仕切られたスペースのことですね。(※ACではストレージと表現しています)

—— そうそう。これはワークスペース？ 収納？ 一体何でしょう。

ノ: 暮らしの多様化を受け入れるスペース。コレクションを並べるとか、趣味、PCコーナーなんかが、ゆるやかに区切られつつリビングの延長線上にある。あたらしい概念やから名前はまだないねん(笑)。

枇: 僕自身、これまで担当してきたリノベ設計のほとんどが「既存の部屋数を減らす設計」でした。具体的には、3LDKを買われて2LDKまたは1LDKにリノベする。その減った部屋の面積はどこにいくかといえば、まずは今の「名前はまだない」スペースがリビングに。それから、玄関や洗面室を広くといった、いわば共用スペースに使うケースがほんとうに多い。

—— 「個」の時代とか言われてるけど、実は「共用」スペース重視？

枇: もしろ個室や寝室は必要最低限の広さでシンプルにというオーダーが多いです。

松: 僕も。

ノ: 個室化はゆるやかに崩壊しつつあると思うので。次の10年は「シェア」化。



過剰な設備を排した「単機能」
キッチンゆえ、使い手の個性が映える



無垢の床材は、種類とカラーで
さまざまなイメージづくりが可能

デザインと機能を両立させた回転窓が
ポイントの寝室

あなたはTOLA派？ TOLAじゃない派？

セレクト型リノベをうたっている「TOLA」ですが、できないことだってやっぱりあります。どういふ人がTOLA向きなのか、たとえばこんな感じ。

TOLA派

たとえば、髪を切ったり洋服を買ったりする時、好きなテイストのお店が見つければ、こんな人が欲しいと伝えて、あとはお店の人におまかせてセレクトしてもらいます。だってプロに任せるのが一番いいにきまっていますの(笑)。

TOLAじゃない派

自分の生活哲学に合わせて間取りをゼロから作りたいし、ずっと使いたいと思っていたガラススタイルとアンティークドアがあるからセレクト型じゃ無理ですね。とにかくこだわって自分仕様にしたいんです！

TOLA+セルフ改造派

広いエントランスや大きいクロゼットがあれば、あとはだだっ広く、仕切らないままにしたい。寝るところはユニット型ベッドでも作って、好きなトコにおいたりテキトーにしますの。間仕切り壁は絵を掛けて、色を塗って、棚つけて、小窓にくりぬいて…と模様替えのノリでやりたい放題あそぶかな。

——（新聞チラシを見ながら）でも、いまだに新築マンションの間取りはきっちり個室を確保した3LDKが多くない？

根: 都市圏のマンションでも、「勤め人の夫と専業主婦の妻+子ども2人」を前提とした間取りから脱却できてないんですね。日本の集合住宅の間取りを語る時に外せないのが、1973年、長谷川工務店(現:長谷工コーポレーション)が開発した「コンパスシリーズ」。「より多くの方々に低廉で良質なマンションを供給する」を課題に同社が考案した標準設計システムです。

——（コンパスの資料を見ながら）この間取り、今でもよく見るような？

根: でしょう？ ちょうど70年代の住宅供給が官から民へ移行しはじめた頃であり、この「コンパ

ス」は良くも悪くもその後の民間マンション設計に多大な影響を与えた間取りなんです。

ノ: 今と何が劇的に変わったかという点、ほとんど設備機器だけやろ。システムキッチンになったり、トイレがタンクレスのウォシュレットになったり、電気回路が増えた…あとは床暖房とか24時間換気システムとか。

—— 根本のところでは38年前の標準設計と大差ないの。

根: 法律とかルールのなことをがっちり決められてしまっ、劇的な変化が起こりにくい、できないということもありますね。1951年に日本に初めてDKという概念が持ち込まれたのですが、そういうベースがあると、そこからの派生でしかものごとが生まれないというかな。

ノ: ACの会社案内やウェブでは、10年前からずっと「自分の暮らしを既製品の住まいに合わせるのではなく、住まいを自分に合わせてつくるのが本当は自然なことではないでしょうか」というセンテンスを使ってるんやけど、こんなにいつまでも需給のミスマッチを起してる業界、他にないで。

—— だから、多くの人がリノベーションにシフトしてきてる？

ノ: もちろん新築とは価格の差もあるし、単純には言われへんけど、新築を買う収入のある人でも「新築はどれも同じでピンとこない」って中古リノベしてはるやん。オレはもっと住む人の本音に沿った間取りを供給したいねん。このTOLAは中古を使ったあたらしい住宅供給のシステム、あたらしい家の取得のしかた。

根: 僕は今回、多くの間取りを体系化してみ、改めて「コンパス」ってよくできてるなあと思ったんです。間取り集「太鼓判」を作るにあたって、現代の

ライフスタイルに合わせたものをゼロから考えるんじゃなくて、長年スタンダードであり続けた「コンパス」の有効活用というか、現代の生活に合わせて間取りの歴史を更新しているような感覚は面白かったですね。

根: ダイニングでは食事をする、玄関では靴を脱ぐ、といった定型化されたスペースの使い方がなく、LDKで持ち帰った仕事をしたり子どもが勉強をしたり、玄関でスノボの板にワックスかけたりという多様でボーダーレスな使い方が「いま」のリアルだと思いますし、今回はそれを提案してるということです。

—— つまり、間取り集「太鼓判」とは？

ノ: ストックを使って住宅を供給するというやりかたの中では、今のベストだと考えています。



TOLAとは…

ACがこれまでの住まいづくり経験を体系化することで、簡単に、安く、質の高いリノベーションができる「セレクト型」の新設計システム。対象となるのは専有面積55~80㎡、類型化された間取りを持つ中古マンション。工事費は3LDK63㎡をTOLA標準仕様で全面リノベーションして590万円！リノベーション住宅推進協議会のR1基準を満たす保証つきなので、後の不具合もサポートします。まずは、TOLAのモデルルームを予約の上、見学ください。
*www.tola.jp/



「これで十分」という声が多い、機能を絞り込んだ洗面台



トイレは「遊べる」スペース。思い切った柄モノでも、くどくない



広い玄関土間は必須。外と内の緩衝地帯でもある

こなす庶民が日本を救う。

日本の文化をリードしてきたのは特権階級ではなくフツウの庶民。
衣食文化に遅れをとっていた「住」分野でも、ようやく住みこなし上手が増えてきた。

中谷ノボル: 1964年大阪生まれ。建築家(アートアンドクラフト代表)。長屋再生からキャンピングカー暮らしまで、自ら多様な住まい方を実践し続けている自称「住まいの求道者」。趣味は世界の水辺を旅すること。



ご存知だろうか。昨年、日本を訪れた外国人の旅行目的の第1位が、買い物から「食事」にとって代わったことを。そういえば、アートアンドクラフトが運営する宿、HOSTEL 64 Osakaにやって来る海外のゲストにも、寿司はもちろん、神戸ビーフに串カツ、果ては好み焼きにラーメンまで、地元民さえ知らない店をチェックして、我らの日本食を賞味している連中がいる。日本のファッションも人気だ。心斎橋ユニクロやMUJIなどメジャーだけでなく、堀江や南船場の小さなセレクトショップまでつぶさに訪れ、日本風の着こなしをしようと西洋人がわざわざ洋服を買って帰る。ときたま、コスロリでキメた西洋人ギャルまで泊まりにくるが、瞳は青くともなんとなく日本人っぽく見えなくなるから不思議だ。

さて、何を言いたいかというと、日本の衣食の文化レベルは今や世界一だということ。たしかにヨーロッパに行けば、めっちゃカッコいい人も見かけるが、平均レベルでは日本の女性が世界一おしゃれしてると思うし、メシもいろんなジャンルですこぶる美味い。関西にはミシュラン掲載の高級店も多いが、安くても美味しい店が至るところにある。要は「庶民レベルの質」が圧倒的にすごいと言いたいのである。では、なんで日本の衣食レベルがそこまで高く、外国人からも人気になったのか。私的見解では、その理由を「こなす」ことにずば抜けているからだと考えている。

「あの人は仕事をこなしているだけだ」と、悪い意味で使われることもあるが、本来こなすとは「熟なす」と書くらしい。習得する、巧みにするなど、お褒めのコトバなのである。元は西洋からやってきた洋服ではあるが、まずは好奇心からそれに触れ、次第に慣れ親しみ、自分たちに合う着こなしやメイクを開発し、どんどん熟してゆく日本。食にしてもそうだ。伝統的な



和食だけが人気なのではない。ライスバーガーに焼きそばパン、カレーうどんに抹茶アイスなど、流派を無視してどんどんハイブリッド化してゆく。器やキッチン用品に対するこだわりも凄ましい。みんな普通にやっているそれらのコトが、どうやら世界ではフツウじゃないらしい。好奇心、チャレンジ精神、探求心。意外かもしれないが、そのあたりが極めて旺盛なのである。

えらく前フリが長くなったが、本コラムのテーマである「ニッポンの住」に話を戻そう。では、「住」はどうか。洋風の暮らしを採り入れて久しいが、ようやく住まいの世界にも、日本らしい「住みこなし術」が目立つようになってきた。ドアの取っ手や電気のスイッチの形状



など、住まいの超細かなパーツにまでこだわり、壁の塗装においては、そんな誰も気付かへんという微妙な色艶の違いにまで気を配る人たちがいる。僕たちがリノベーションを始めた十数年前からそういう人たちがいるにはいたが、かつてなら「あの人はオタクだから」と片付けられていたかもしれない。が、今はそういった住まいオタクがそこかしこにいるんだわと、我社を訪れるクライアントや街のインテリアショップを見て実感する。ファッションから家具、そして住まいのインテリアへと、おしゃれしたい分野がナチュラルに拡散している状況だろうか。前世代が「どうせ家は寝に帰るだけだから」と所有することのみに重点をおいたのと違い、寝に帰る住まいだからこそこだわりたい。そして模様替えや少しの改造を頻繁に繰り返し、

住まいと暮らしを楽しむ。それが今の30代以下の世代では、ごく普通の感覚になってきている。西洋のインテリア雑誌を必死で追いかける時代はすでに終わった。

そもそも、ファッションデザイナーや建築家とは、特権階級を相手に仕事する職業であった。欧米など階層社会が色濃く残る国々では、そういったお金持ちが文化を支えてきた面が大きい。一方、格差社会が広がったと言われる日本ではあるが、欧米や現在の中国と比べると、この国ではフツウの庶民が文化をリードしてきたのではないかと思う。商品を供給するプロの手を離れてからが庶民の見せ場だ。ファッションでは既成服を様々に着こなし、食では自宅での調理にも飽くなきこだわりを持つ。そのような一般ユーザー層の厚さが日本の衣食文化を下支えしている。「住」で言うなら、住みこなし上手とも言うべき部分。家を買ってハイ終わりではなく、そこから自分らしく暮らしてゆく「住みこなし術」が、この分野でも成熟しつつある。

2000年以降、リノベーションにシェア住宅、そして町家再生など、こだわりの住まい方が急激に広まった。それらはワンランク上を旨とする階級社会的なブランド志向ではないし、盲目的な西洋文化への憧れとも違う。住み始めてからの暮らしをテーマにしたムーブメントであることが実にあたらしいと思う。やれGDPの順位が落ちたなどの報道に、悲観的になるのはもう止めよう。そんなことはどうでもいい。今回話したフツウの「こなし」感覚こそが、これからの世界でより広く支持される財産であり、おカネも生み出すソフトパワーとして、きっとこの国をホントウの意味で豊かにしてくれるだろう。COOL JAPANは、アニメやJポップだけにとどまらない。

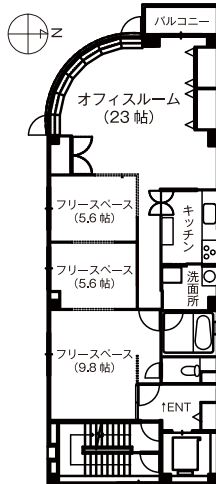
new!

賃貸

静かで明るい天満2丁目に

住まうように働ける、ひろびろオフィスができました

料理ができる大型キッチンや、無垢材の床、光が透けるガラスパーテーション…と住まいながらの温かく心地よいオフィス空間。肩の力を抜いて仕事はかどりそう。ひろびろとした使いやすい間取り&基調はベージュと白、なので色レイアウトでより自分らしくアレンジ可能です。



[賃料] 220,000 円 (税込) / ※管理費含む
 保証金66万円(解約引30万円) / 礼金なし

[所在] 大阪市北区天満2丁目 坂東ビル

[交通] JR東線大阪天満宮駅 徒歩約8分
 ※各線天満橋駅、南森町駅も便利です

[専有面積] 103㎡

[構造] S造4階建2階部分

[建築] 1996年 [取引態様] 仲介

[備考] 駐車場無、事務所専用、
 ガス水道料金5,000円/月



●こんな人に

近所の便利なコピーショップより、居心地が重要だと思う方。界限には小さな本屋やギャラリー、美味しいお店も増えてきたおすすめエリアです。桜を眺めながらの通勤、息抜きに川沿いをブラブラ、そんな小さなしあわせを大事にしたい方にも◎

賃貸

八尾の長屋にゆったり土間あります

趣味の自転車やバイクをイジるスペースに、ものづくりのアトリエに。土間の使い方はあなたにします。

[賃料] 70,000円/

保証金:30万円(解約引:20万円)

※賃料、保証金大幅に下げました!

[所在] 八尾市末広町4丁目

[交通] 近鉄大阪線久宝寺口駅 徒歩約3分

[専有面積] 66.54㎡

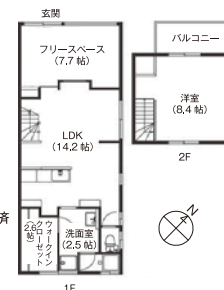
バルコニー:5.0㎡(北南向)

[構造] 木造2階建一部平屋建

[建築] 築年数不詳 ※H22年リノベーション済

[取引態様] 仲介

[備考] ペット飼育可相談



賃貸

池田で長屋ライフのすすめ

時が止まったかのように静かな街並みの1区画に空気が出ました。

ご近所には、カフェやギャラリーづかいをしながら住まわれている方も。

季節は春。気持ちも新たに和の暮らし、いかがですか?



[賃料] 105,000円 / ※共益費含む 保証金21万円 / 礼金31万5千円

[所在] 大阪府池田市菅原町

[交通] 阪急宝塚線池田駅(梅田から急行で19分) 徒歩約5分

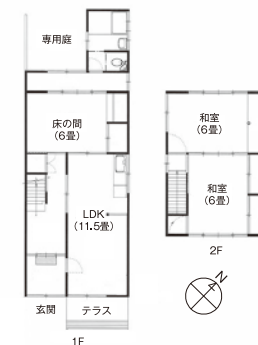
[専有面積] 1F+2F+テラス+専用庭 合計約85.62㎡

[構造] 木造2階建て連棟

[建築] 築年数不詳(昭和6年頃) ※H14年リノベーション済

[取引態様] 仲介

[備考] 駐車場可相談、ペット飼育可、
 店舗利用可相談



街だのな

第5回目

辺口芳典

kuromegarou@gmail.com

あそこに戻りたうと思つた。
でも、あそこって 戻らうとしたら、

歩いているのは ゆるやかな斜面だった。
夜明けとつづき生き物の口に
ぼつりにまれた一粒の食物のよつな気分じ
なっていた。

果物が ぼつくり割れて、
何かが流れ出すみたいに歩いていた。

素朴な静けさと
地に足の着いた冷たさの中を歩いた。
あるいは、澄んだ静けさと
居心地のよい冷たさに出会うたびに、

出会うたびに全かった。
出会うたびに全かった。

まだがんばってます！

vol.10 足場板



古い建物をリノベーションしたその現場で、
まだ生き残っているモノたちが語ります。

まあ、まさかこの歳になって、人さまの枕元に使
うてもらうとは思わなんだわ。そら、命を預かる
立場でしんで、仕事は真剣、踏まれても汚され
ても構やしませんねんけど、引退してカフェーい
いますんか、洒落た店の床になったり、なんやよ
うわからん、目え飛び出る値段のもの売ってる店
の棚になったりして、若い子らにこのシワやらケ
ガやらお迎えボクロがええねんと言われたら、
嬉しいちゅうより何や落ち着きませんわ。

主に高所作業の際に、建築物の周囲に鉄筋を組んだ後、この
足場板を渡し、作業員が移動するために使われる。近年では
アルミやスチールのものが主流だが、杉板は古くから足場板
として利用されてきた。耐久性が落ちたものは未舗装地や軟
弱地盤作業時の敷板へ再利用されたり、店舗のみならず一般
住宅用建材として流通している。

ACB

Arts & Crafts Book

自分らしい住まいがほしい
ありきたりでない仕事場をつくりたい
そんなあなたに ACB

● editor's notes

テレビや新聞は見ないが、YouTubeやTwitterなら。そんな人が
増えています。胡坐をかいてきた大規模メディアに見切りをつけ、
よりユーザーサイドの媒体へみんながシフト。不振のプロ野球・百
貨店・新築マンション・自動車などもあり。急な変化には寂しさ
や不安もあるけれど、次にいったい何が起ころんだろうというワ
クワク感には逆れません。

発行日 2011年2月14日
発行人 中谷ノボル Arts & Crafts
編集 植田 香 岡崎 麗
竹内 厚 (Re:S)
写真 平野 愛
アート 黒瀬正剛
デザイン cursor (黒田ゆうや、みやあきみさ)

制作・発行 Arts & Crafts
株式会社アート アンド クラフト
550-0003 大阪市西區京町堀1-13-24-1F TEL.06-6443-1350
営業時間 10:00~18:00 水・日・祝休



TOLAモデルルーム撮影の様子。モデルは全員ACスタッフ。い
つもの服で、ちょっと自慢の小物を持ち寄り、経費削減ではあ
りません。リノベの「いま」と「リアル」を表現したかったのです。
伝わりましたか？

Arts&Crafts www.a-crafts.co.jp

「自分らしい住まい」「ありきたりでない仕事場」
その実現をリノベーションでお手伝いします

●物件探し ●設計デザイン ●工事施工

「空室が目立つ50-70年代のオフィスビルやアパート」
リノベーションすることで魅力ある物件に再生させます

一級建築士事務所 大阪府(口)第21250号
建設業免許 大阪府知事(第-18)第116939号
宅地建物取引業 大阪府知事(3)第46315号
リノベーション住宅推進協議会正会員
(社)近畿地区不動産公正取引協議会会員